

徳島商工会議所 健康事業所紹介

このコーナーでは、健康経営や働き方改革に取り組んでいる先進的な会員事業所を紹介しています。今回（第3回）は、富士ファニチア株式会社(代表取締役社長：布川徹氏)の取り組みを紹介します。



1959年、日本一の木製洋家具メーカーを目指し操業を開始。ソファ、チェア、テーブル等既製家具から特注家具まで幅広く製造している。



コア技術である成型合板は1978年の発売開始から日々技術革新を行い、デザイン性豊かで曲線美の商品として顧客から高い評価を得ている。企業理念である「絶えずお客様の要求する家具を探求し、より良いものをより安くより多く供給していくことで企業を繁栄させ、関連する人々の生活が向上安定するようにしていく。」を実現するため、全社員一丸となっている。

健康経営の取り組み

富士ファニチア株式会社では、従業員の健康は大切な資本であると考え、安全衛生委員会、安全パトロール等の活動を通じて、過重労働対策、健康促進、働きやすい職場づくり等を実現し、労使で合意した36協定の特別条項である長時間（42時間以上）残業労働者を約90%減少させることができました。今後もこれらの活動を継続して、生産性・収益性の向上につなげていきます。

●過重労働対策

トヨタ生産方式を使った現場カイゼン活動を実施してムダを排除し、生産性向上、残業時間削減につなげています。また、ノー残業デーや有給休暇の取得義務制度を設けて、働き方に対する意識改革に努めています。

●従業員の健康促進

定期健康診断や特殊定期健康診断は会社負担で就業時間中に受診できるようにし、受診率100%になっています。また、全国健康保険協会による特定保健指導や産業医による保健指導、徳島大学による出張肝臓病教室などを実施しています。さらに海外出張者に対するワクチン接種やインフルエンザの予防接種も就業時間中に受けられるようにし、費用の半額を会社が負担

しています。

●働きやすい職場づくり

安全衛生委員会、安全パトロールを毎月開催して、職場の安全に関する教育を行っており、その結果、工場の照度アップのためにLED照明を導入したり、暑さ対策のためにミスト装置を設置したり、疲労軽減のためのマット設置や塩飴配布など、働きやすい職場づくりを進めています。

●ワークライフバランス

社員が心身ともリフレッシュできるようにリゾート施設の利用制度を導入することで、プライベートを楽しむことができ、ワークライフバランスの推進に貢献しています。